

平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月28日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 大谷 喜一
 (氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	83,024	10.6	5,012	19.1	5,163	15.9	2,899	35.6
25年4月期第2四半期	75,090	9.1	4,209	△12.0	4,454	△8.6	2,137	△9.6

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 2,881百万円 (34.1%) 25年4月期第2四半期 2,148百万円 (△5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	181.89	—
25年4月期第2四半期	134.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第2四半期	99,985	40,281	40.2	2,524.37
25年4月期	95,839	38,356	40.0	2,403.43

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 40,240百万円 25年4月期 38,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	11.3	11,280	16.3	11,650	13.2	6,000	18.2	376.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期2Q	15,944,106 株	25年4月期	15,944,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年4月期2Q	3,416 株	25年4月期	3,366 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期2Q	15,940,707 株	25年4月期2Q	15,940,748 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年5月1日～平成25年10月31日)におけるわが国の経済は、企業収益の改善とともに、設備投資、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は、緩やかながら着実に回復しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aとともに、医療モールの総合開発、都市型ドラッグストアの出店を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

また、平成25年11月11日付で、さらなる業容拡大への対応のため、かねてより建設中でありました、札幌市白石区の新社屋に本社オフィスを移転いたしました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が830億2千4百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は50億1千2百万円(同19.1%増)、経常利益は51億6千3百万円(同15.9%増)となり、四半期純利益は28億9千9百万円(同35.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局部門では、処方日数の長期化により、処方箋1枚当たりの売上高が上昇し、既存薬局の売上高は増収傾向で推移いたしました。

また、前期以降の新店につきましても、門前型調剤薬局の安定的な収支に加え、医療モール型薬局の地域定着により、堅調に業績貢献しております。

また、既存薬局の収益性を改善するため、薬局職員が既存のルールに捉われることなく、調剤薬局業務の全工程について、それぞれの薬局単位で検証・再構築する「考える薬局プロジェクト」を推進して、現在さまざまなタイプの店舗で実績を挙げております。

これらの薬局単位の業務改善の取り組みをグループで共有・展開することにより、さらなる改善を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、739億5千4百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益は64億円(同12.6%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計30店舗を出店し、1店舗を事業譲渡した結果、当社グループにおける薬局総数は589店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合に加え、医薬品のインターネット販売に対する環境変化等により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、ドラッグ&コスメティックの専門性に特化した、オリジナリティ性の高いストアコンセプトによる「アインズ&トルペ」を、都市部の特に集客力の高いエリアで展開を行っております。

「アインズ&トルペ」では、商圈・立地に対応したMDを強化するとともに、LINE(ライン)等のコミュニケーションアプリ等を活用した販売促進手法を高め、店舗単位における販売力を高めると同時に収益の改善を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、87億3千6百万円(前年同期比6.4%増)となり、セグメント利益は、4百万円(同84.1%減)となりました。

同期間においては、新たな出店はなく、郊外型店を中心に札幌市内の3店舗を閉店し、ドラッグストア店舗総数は58店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は3億3千3百万円、セグメント損失は2億5千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より41億4千5百万円増の999億8千5百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴い、たな卸資産、未収入金、土地建物等の有形固定資産及びのれんが増加したことによるものであります。

負債の残高は、22億2千万円増の597億4百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。

長期及び短期借入金の残高は、21億2千4百万円減少となる134億7百万円となりました。

純資産の残高は、19億2千5百万円増の402億8千1百万円となり、自己資本比率は0.2ポイントプラスとなる40.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ17億3千3百万円増の201億7千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益53億1千8百万円、売上債権の減少額28億4千万円、仕入債務の増加額39億2千4百万円を主な収入要因として、また、法人税の支払額24億3千9百万円を主な支出要因として、93億2千4百万円の収入(前年同期は23億7千万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出22億4百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出17億3百万円を主な要因として、42億1千5百万円の支出(前年同期は35億8百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の借入れと返済の差額が21億8千3百万円の返済となり、また、配当金の支払額9億5千6百万円を主な要因として、33億7千5百万円の支出(前年同期は4千1百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成25年5月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,460,349	20,182,789
受取手形及び売掛金	7,043,984	4,739,882
商品	7,816,853	8,879,691
貯蔵品	127,546	129,973
繰延税金資産	955,372	1,009,810
短期貸付金	445,000	1,070,600
未収入金	7,180,659	8,232,499
その他	1,142,498	904,861
貸倒引当金	△9,917	△7,479
流動資産合計	43,162,346	45,142,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,247,806	8,546,174
土地	6,030,803	6,777,257
その他(純額)	3,271,425	3,531,777
有形固定資産合計	17,550,035	18,855,209
無形固定資産		
のれん	19,574,539	20,162,730
その他	1,031,265	1,065,406
無形固定資産合計	20,605,804	21,228,136
投資その他の資産		
投資有価証券	2,789,730	2,579,047
繰延税金資産	946,439	958,713
敷金及び保証金	6,985,755	7,085,228
その他	4,066,340	4,404,729
貸倒引当金	△267,829	△267,829
投資その他の資産合計	14,520,435	14,759,888
固定資産合計	52,676,275	54,843,234
繰延資産		
株式交付費	1,296	—
繰延資産合計	1,296	—
資産合計	95,839,919	99,985,862

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,084,746	28,514,343
短期借入金	7,483,090	7,088,191
未払法人税等	2,427,308	2,442,643
預り金	7,906,269	7,745,771
賞与引当金	1,098,611	1,239,449
役員賞与引当金	12,929	11,935
ポイント引当金	315,919	322,070
その他	2,357,917	2,151,623
流動負債合計	45,686,791	49,516,028
固定負債		
長期借入金	8,048,584	6,318,919
退職給付引当金	1,659,245	1,747,143
その他	2,088,777	2,122,140
固定負債合計	11,796,607	10,188,204
負債合計	57,483,398	59,704,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	21,704,510	23,647,473
自己株式	△5,837	△6,047
株主資本合計	38,254,620	40,197,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,855	42,769
その他の包括利益累計額合計	57,855	42,769
少数株主持分	44,044	41,486
純資産合計	38,356,520	40,281,629
負債純資産合計	95,839,919	99,985,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	75,090,551	83,024,578
売上原価	63,593,065	70,366,857
売上総利益	11,497,485	12,657,720
販売費及び一般管理費	7,287,507	7,645,115
営業利益	4,209,978	5,012,604
営業外収益		
受取利息	38,686	36,539
受取配当金	23,092	20,919
受取手数料	30,721	8,499
不動産賃貸料	51,986	41,537
業務受託料	74,561	66,897
その他	191,377	207,854
営業外収益合計	410,426	382,247
営業外費用		
支払利息	71,182	66,659
債権売却損	36,829	42,675
不動産賃貸費用	17,503	23,032
その他	40,364	98,962
営業外費用合計	165,879	231,330
経常利益	4,454,524	5,163,522
特別利益		
投資有価証券売却益	—	49,667
固定資産売却益	10,881	4,051
受取保険金	50,000	193,941
その他	809	10,134
特別利益合計	61,690	257,794
特別損失		
固定資産除売却損	70,697	59,440
投資有価証券売却損	107,387	—
投資有価証券評価損	1,463	—
役員退職慰労金	320,000	—
その他	46,919	43,714
特別損失合計	546,467	103,154
税金等調整前四半期純利益	3,969,747	5,318,161
法人税等	1,850,379	2,421,312
少数株主損益調整前四半期純利益	2,119,367	2,896,849
少数株主損失(△)	△18,238	△2,558
四半期純利益	2,137,606	2,899,407

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,119,367	2,896,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,595	△15,085
その他の包括利益合計	29,595	△15,085
四半期包括利益	2,148,963	2,881,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,167,202	2,884,321
少数株主に係る四半期包括利益	△18,238	△2,558

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,969,747	5,318,161
減価償却費	997,084	1,080,684
のれん償却額	822,858	990,207
投資有価証券評価損益(△は益)	1,463	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	123,127	73,585
賞与引当金の増減額(△は減少)	142,606	127,168
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	89	△994
受取利息及び受取配当金	△61,778	△57,458
支払利息	71,182	66,659
固定資産除売却損益(△は益)	59,815	55,389
売上債権の増減額(△は増加)	454,732	2,840,730
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,438,970	△813,637
未収入金の増減額(△は増加)	△2,365,679	△986,963
仕入債務の増減額(△は減少)	2,117,445	3,924,305
その他	362,715	△840,959
小計	5,256,439	11,776,878
利息及び配当金の受取額	67,080	53,436
利息の支払額	△73,195	△66,855
法人税等の支払額	△2,879,474	△2,439,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,370,850	9,324,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,519,146	△2,204,368
有形及び無形固定資産の売却による収入	240,739	409,491
投資有価証券の取得による支出	△368,760	△107,380
投資有価証券の売却による収入	77,300	299,729
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△416,908	△1,703,903
貸付けによる支出	△103,000	△1,965,344
貸付金の回収による収入	537,901	824,862
定期預金の預入による支出	—	△6,900
定期預金の払戻による収入	—	27,602
その他	△956,835	210,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,508,711	△4,215,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,542,227	△91,654
長期借入れによる収入	2,350,000	124,578
長期借入金の返済による支出	△2,859,928	△2,216,669
リース債務の返済による支出	△194,033	△234,664
自己株式の取得による支出	△210	△209
配当金の支払額	△797,039	△956,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,015	△3,375,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,096,844	1,733,142
現金及び現金同等物の期首残高	15,935,326	18,439,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,838,482	20,172,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,622,833	8,208,949	258,769	75,090,551	—	75,090,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	66,622,833	8,208,949	262,076	75,093,858	△3,306	75,090,551
セグメント利益又は損失(△)	5,682,556	26,290	△223,915	5,484,931	△1,030,406	4,454,524

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,030,406千円には、全社費用が969,892千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が23,150千円、セグメント間取引消去が37,363千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社5社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,025,848千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	73,954,006	8,736,578	333,994	83,024,578	—	83,024,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	94,469	94,469	△94,469	—
計	73,954,006	8,736,578	428,463	83,119,048	△94,469	83,024,578
セグメント利益又は損失(△)	6,400,982	4,176	△252,838	6,152,321	△988,799	5,163,522

(注) 1. セグメント利益の調整額△988,799千円には、全社費用が939,630千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が82,850千円、セグメント間取引消去が△33,681千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社8社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,405,598千円であります。